



介護

介護の道を歩み始めた4人の方に話を伺いました。きっかけはそれぞれですが、「毎日を支える原動力はなんですか」との問いに全員が「利用者さんの笑顔」と語っていました。自分のつたない介助でも「ありがとう」と笑いかけてくれる、その一言でまた頑張ろうと前向きになれるそうです。くりのさとは介護者と利用者の支え合いの輪が広がっていました。



とつばた まい
鳥羽田真衣さん 20歳
特別養護老人ホームくりのさと
札幌医療秘書福祉専門学校卒



ながさか はるな
長坂治奈さん 28歳
特別養護老人ホームくりのさと
北海道介護福祉学校卒



みやもと まさや
宮本雅也さん 18歳
特別養護老人ホームくりのさと
栗山高等学校卒



やまもと みのり
山本美乃里さん 20歳
特別養護老人ホームくりのさと
北海道介護福祉学校卒

利用者さんの笑顔が明日への原動力



三上 勝 事務長

大切なのは誠実さ
家族のように毎日一緒にいると、利用者さんに対して言葉や態度がなれなれしくなってしまうがちです。人生の先輩に対して「誠実さ」を忘れない、プロとしての立ち振る舞いを期待します。

事務長より4人へ



特集

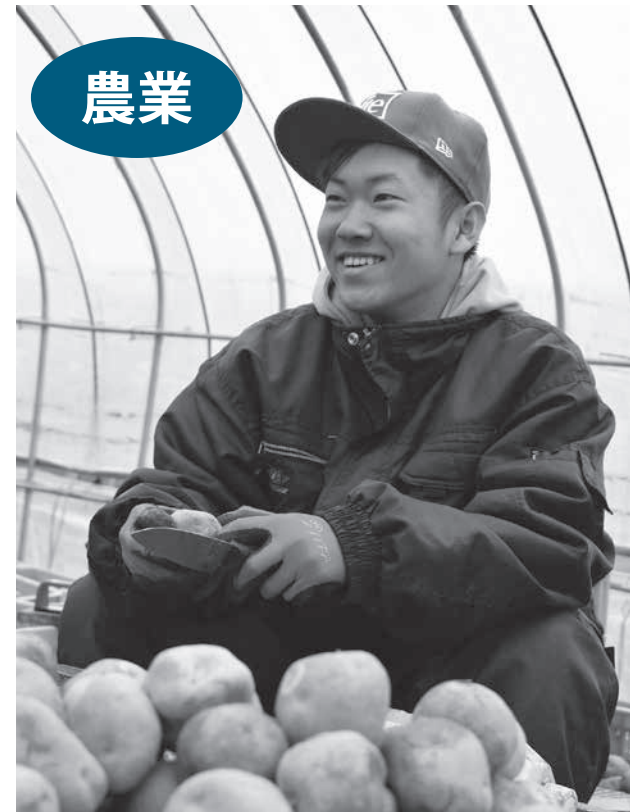


くりやまで働く

— We work in Kuriyama —

この春から新社会人として、栗山町内で働き始めた9人。それぞれの胸に秘めた思いを語ってもらいました。

農業



おぎの じゅんいち
荻野隼一さん 20歳
自営業（農業）
拓殖大学北海道短期大学卒

踏み出す一歩。追いかける父の背中

幼いころからの夢「父と農業を」

荻野さんは小さいときから父、一彦さんの働く姿を見て「自分も農家になりたい」と思い続けてきました。保育所や小学校の卒業文集には「大きくなったらお父さんと一緒に農業をする」と書き、父の母校でもある岩見沢農業高等学校を卒業。その後、拓殖大学北海道短期大学環境農学科へ。在学中に道立農業大学の稲作経営専攻コースでも学び、憧れの農業への知識を深めました。

今春から水稲・麦・大豆・種イモを生産する実家の荻野農場に就農。

働くことへの自覚

現在はイモ植えの準備を行っています。休みのない生活が続きますが、家族とともに働く喜びをかみしめ「毎日とても楽しい」と笑顔がこぼれました。

追う背中、今は遠く
これからの目標を尋ねると「祖父から父へと受け継がれてきた農場を、まかせてもらえるような社会人になりたい。今はまだまだですが、将来必ず追いつき、追い越せるよう、仕事を一つひとつ覚えていきたいです」と語ってくれました。

食べ物を作る責任感を

人が生きていくのに欠かせない「食べ物」を作るのが農家の仕事。体に入るものだから安全・安心が第一です。まじめに、正直に、開拓から4代築いてきた農家としての自覚をしっかりとってもらいたいです。



父 荻野 一彦さん

父より息子へ



頑張れ！
新社会人！
工業

頑張れ！
新社会人！
教育

好きなこと仕事に

ぼうや たけふみ
棒谷 武史 さん 18歳

旭イノベックス栗山工場
栗山高等学校卒



小さいころからラジオコンやラジオなどの組み立てが好きだった棒谷さんは、憧れのモノ作りの世界へ。持ち前の集中力を仕事でも発揮していきます。現在の目標は、先輩のようになめらかで美しい溶接面を仕上げる。こと。簡単ではありませんが、好きなことを仕事にできた喜びは高いモチベーションに繋がっています。また、事故や怪我がないよう、安全確認も怠りません。「仕事に集中できる環境づくりの大切さも先輩から学びました」と一人前を目指し日々成長しています。

自分らしさ大切に

はしもと みき
橋本 美希 さん 21歳

栗山めぐみ幼稚園
経専北海道保育専門学校卒



「子どもの個性を引き出す先生になりたいです」と話す橋本さん。約束を守る、あいさつができるといった社会性を育むことはもちろん、一人ひとりが「自分らしさ」を出せるクラスづくりが目標です。また、子ども同士の問題では、話をじっくり聞き、お互いが納得して仲直りできるよう配慮しています。緊張から、子どもたちの前でピアノがうまく弾けなくなることも。しかし、持ち前の明るさを発揮し「前向きに頑張ります」と笑顔が輝いていました。

憧れの先生になる

あんどう ゆか
安藤 佑華 さん 20歳

栗山めぐみ幼稚園
北翔大学短期大学部卒



「小さいころ通っていた幼稚園の先生がとても魅力的な人でした。憧れの先生です」と語る安藤さん。受け持ちは新入園の子が多い3歳児クラスで、初めての幼稚園生活に泣いてしまう子も。「まずは安心して過ごせるクラスづくりからです」と子どもたちの様子を注意深く見守っています。いつもと様子の違う子がいれば、そばに寄り添い不安を受け止め、信頼関係を築こうと奮闘中。今度自分が憧れの先生になれるよう努力を続けています。

地元で働く喜び

きど こうたろう
木戸 幸多郎 さん 18歳

旭イノベックス栗山工場
栗山高等学校卒



「栗山で働きたかったので、地元で就職できてとてもうれしいです」と話す木戸さん。現在は溶接の練習中です。高い技術が要求されるため、始めは失敗の連続。しかし木戸さんは学生時代に打ち込んだ野球で、苦労がいつの日か実を結ぶことを知っていました。諦めない強い気持ちで溶接に挑み続け2週間。やっと初めての製品を完成させました。「仕事を辛いと思ったことはありません」と語る木戸さんは、できることが増えていく毎日を楽しんでいます。

子どもを第一に考えて

2人ともとても明るく、元気で積極的に子どもとコミュニケーションを取ろうとしています。大人の都合は二の次に、子どもを第一に考える幼稚園教諭になってほしいですね。

園長より2人へ

園成眞生子 園長



工場長より2人へ

西村 茂 工場長



大きな夢をもって
これから働く中で必ず大きな壁にぶつかる日が来ます。そんな時、力を発揮できるのは大きな夢や志をもっている人。高い目標に向かって日々努力し、それを生かしていくことができる社会人になってほしいですね。



角田小学校 7人



北海道介護福祉学校 39人



継立小学校 7人



栗山高校 78人



栗山中学校 106人

4月は入学式シーズン。町内の学校で総勢291人が新たなスタートを切りました。真新しい色とりどりのランドセルを背負い、元気に初登校していた小学校1年生や、緊張と期待が入り交じった表情をしていた学生など、さまざまな風景を見ることができました。「ふるさと栗山に誇りを持ち、志高く未来を拓く」の誓いを胸に、しっかり学び、仲間と高め合い、立派な大人になることを願っています。



栗山小学校 54人

入学式

栗山町議会議員選挙 12人の顔ぶれ



4月21日告示の栗山町議会議員選挙は、定数内の届出により無投票で12人の議員が決定しました。

＜議員選挙当選者（敬称略）＞
党派・新旧・住所・職業・当選回数



無現・杵 白・会社役員 (2)
三田 源幸 (48歳)



無新・朝日3・無 職 (1)
千葉 清己 (60歳)



無現・大井分・会社社長 (2)
大西 勝博 (61歳)



無現・中央2・会社社長 (4)
置田 武司 (61歳)



無現・継 立・会社社長 (3)
鶴川 和彦 (58歳)



無現・御 園・農 業 (2)
大井 賢治 (61歳)



無現・北学田・農 業 (2)
藤本 光行 (51歳)



無現・松風4・無 職 (2)
土井 道子 (66歳)



無現・中央3・会社社長 (4)
友成 克司 (74歳)



共現・松風3・政党役員 (5)
重山 雅世 (71歳)



公新・継 立・無 職 (1)
佐藤 則男 (61歳)



無現・中央3・会社社長 (4)
檜崎 忠彦 (68歳)

北海道知事・北海道議会議員選挙

4月12日執行の北海道知事・北海道議会議員選挙の開票結果は次のとおりです。（敬称略）

知事候補者氏名		得票数（全道計）	
当	高橋はるみ	3,989	(1,496,915)
	佐藤 則幸	2,786	(1,146,573)

道議候補者氏名		得票数（全道計）	
当	白川 祥二	2,562	(15,750)
当	稲村 久男	1,184	(23,888)
当	荒当 聖吾	1,068	(18,011)
当	釣部 勲	1,050	(22,063)
	木村 賢治	785	(10,786)

募集

町では、町民参加の機会を広げるため、各種審議会・委員会などの公募を推進しています。

まちづくり審議会・委員会

- 申込期間** 5月1日(金)～15日(金)
■応募資格 3機関以上の町の審議会・委員会などの委員の方は応募できません。
■応募方法 ・専用の申込書に必要事項を記入し、下記申込先まで提出してください。
 ・申込書は下記申込先でお渡ししますが、町ホームページからもダウンロードできます。
■決定方法 申込書による書類選考および面談 *申込書は返却しません。

生活安全推進協議会委員

- 協議内容** 町民の安全意識の高揚、自主的な安全活動の推進、生活安全環境の整備、生活安全に係る協議など
■公募人数 4人 (総委員数14人)
■応募資格 町内に在住、在勤、または在学されている満18歳以上の方
■任期 第1回目の委員会議の日から平成29年3月31日
■会議など ・年1回(平日の日中)開催予定、会議1回につき報酬4,000円
 ・この会議は原則公開となります。
■申込先・問い合わせ 町住民生活課生活安全グループ ☎73-7510 FAX73-2266
 Eメール seikatsuanzen-g@town.kuriyama.hokkaido.jp

栗山町国民健康保険運営協議会

- 協議内容** 自己負担額の割合、国民健康保険税、保険給付の種類および内容の変更に関する協議など
■公募人数 3人 (総委員数9人)
■応募資格 町内に在住、国民健康保険被保険者であって満18歳以上の方
■任期 平成27年6月1日から平成29年5月31日まで
■会議など ・年2回(6月と2月)開催予定、会議1回につき報酬4,000円
 ・この会議は原則公開となります。
■申込先・問い合わせ 町住民生活課住民・国保グループ ☎73-7508 FAX73-2266
 Eメール juuminkokuho-g@town.kuriyama.hokkaido.jp

初めの試み！
 春と夏の「くりやまマルシェ」
 はじめまして！昨年6月に入会しました、西岡工務店の西岡政則です。今年度、輝く地域創出委員会の副委員長を任されています。時がたつのは早いもので、間もなく栗山JCのメンバーとなつて1年がたちます。40歳までしかないJC活動、その貴重な1日1日を大切に、より良い地域創りのために頑張ります！
 さて、先日開催しました「くりやまマルシェ」。今年度はくりやま老舗まつりと同時開催させていただき、おかげさまで大変多くの皆さんに会場にいらいただき、ありがとうございました。お礼を申し上げます。
 今年度のマルシェは、初の試みとして、春・夏の2回開催します！夏のマルシェは、栗山町や南空知地域の豊富な野菜が出そろ



我々、栗山JCメンバーはこれからも、誇り溢れ輝き放つ故郷づくりを目指して活動します！そのためにも、多くの仲間が必要となりますのでメンバーも大募集しています！今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



8月22日、栗山公園特設会場で開催予定です。例年、繁忙期にも関わらずおいしい野菜を届けてくれる農業関係者や多くの関係諸団体の皆さんからの協力のもと、開催させていただいています。当日は多くの来場をお待ちしております！

私たち栗山青年会議所です。④

こんにちは！

畑には絶対に入らないで！

ジャガイモシストセンチュウの侵入を防ぎましょう

ジャガイモの病害虫の中で、最も恐れられている「ジャガイモシストセンチュウ」の発生地域が近年拡大しています。この害虫はジャガイモの根に寄生し、生育不良を引き起こして収穫量が大幅に低下します。

一度発生すると完全に撲滅させるのは不可能で、町の特産物である種イモの生産ができなくなることも予

想され、食用などのジャガイモも壊滅的な被害を受けることになります。ジャガイモシストセンチュウは、汚染された土壌により感染が広がりますので、侵入を防ぐために次の事項について十分注意してください。

町の特産物であるジャガイモの生産を守るため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

- ① 土付きの種苗や農産物、農業機械などを畑に持ち込まないようにしましょう。
- ② 汚染地域から帰るときは車両のタイヤや靴の洗浄を徹底しましょう。
- ③ 関係者以外のジャガイモ畑への立ち入りは禁止です。
- ④ 家庭菜園では、正規に販売されている種イモを使用しましょう。

【問い合わせ】
 そらち南農協 ☎72-1409
 町産業振興課 ☎73-7515

あなたの家庭にも栗の木を植えてみませんか？
栗の苗木を無料配布！
 町名の由来でもある「栗」を地域資源として、日本最北端の産地づくりとブランド化を目指し、平成22年度から協議会組織を立ち上げ「栗の活用事業」を進めています。生産者らが主体となり、栗栽培の学習と普及活動をしている「くりやま栗を育てる会」では、町内の各家庭などでも広く栗を栽培してもらおうと、栗の苗木の無料配布を実施します。お気軽にお申し込みください。
【苗木について】
 配布する苗木は、町内の試験栗園で採取した栗から育てた雑種で、現在の樹高は20～30cmです。種苗会社などで販売されている品種が特定できる接ぎ木苗と比べ、収穫を迎えるまで年数を要するほか、品質にもバラつきが生じますのであらかじめご了承ください。

「くりやま栗を育てる会」会員募集中！

栗の植栽・管理、剪定講習会などへの参加、イベント協力などの活動を行っています。栗栽培に興味のある方(町内に居住する方、農業経験の有無不問)は、是非ご参加ください。(申込先・問い合わせは、くりやま栗を育てる会事務局まで)

【申込先・問い合わせ】
 くりやま栗を育てる会事務局
 (町ブランド推進課内)
 久保・鈴木
 ☎73-7516

【配布時期】
 5月上旬・中旬
【配布方法】
 申し込み受け付け後、左記の配布時期に指定の場所まで事務局が配布
【配布本数】
 一人につき20本まで
【配布料金】 無料
【配布方法】
 申し込み受け付け後、左記の配布時期に指定の場所まで事務局が配布



生活と環境

安全・安心な街を目指して

安全・安心を願って

4月7日、町内3小学校の入学式に合わせて新1年生68人に、防犯ブザーと交通安全のお守りが贈られました。

子どもたちが、安全・安心に元氣よく学校に通ってほしいとの願いを込め、毎年、新入学児童に贈られているものです。

防犯ブザーは、防犯協会と暴力追放運動推進協議会から、お守りは、交通安全の会の皆さんが心を込めて作ったもので、札幌トラック協会南空知支部とともに贈られました。

入学式で父母に手を引かれた新1年生は、真新しいランドセルに、防犯ブザーとお守りを付けてもらい、元氣に登校していました。



Catch Voice

く り や ま キ ャ ッ チ ボ イ ス

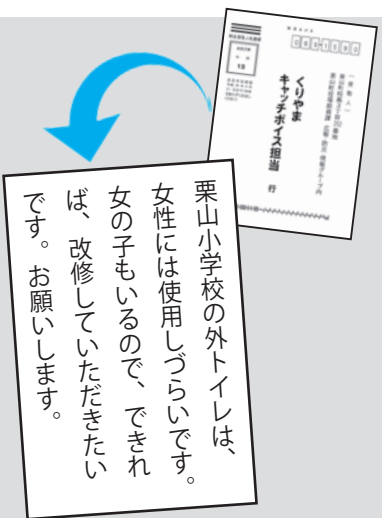
【問い合わせ】 広報・防災・情報グループ ☎7501

■あなたの声を しっかりキャッチ！
1枚のはがきが 明日のくりやまを変える！



町民の声がまちを動かす

昨年9月、くりやまキャッチボイス
に一枚のはがき投書がありました。



トイレは外から丸見えで
男女の区切りもない

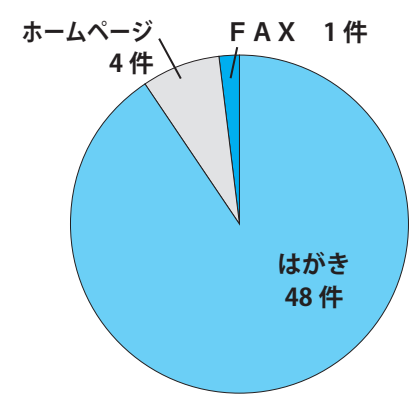
担当は教育委員会。10日後、「女子
が安全・安心に利用できるようにする
ため、改修について検討します」と回
答を送付しました。

その後、予算編成の際に検討され、
トイレに間仕切りがつくことに決まり
ました。

平成26年度を振り返る

町民のまちづくりに対する疑問や意
見などに常時お答えする「くりやま
キャッチボイス」に平成26年度は53件
の投書が寄せられました。（制度開始
が26年7月のため、9カ月間の合計）

①投書の方法



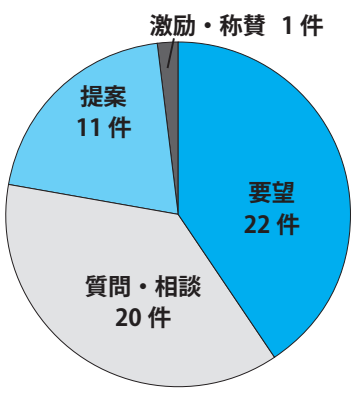
平成26年度 投書方法

たくさんのご意見、
ご質問をありがと
うございます！



投書の方法で最も多いのが「はが
き」で48件。続いて「ホームペー
ジ専用フォーム」が4件、「FAX」が1
件となっています。

②投書の内容



平成26年度 投書内容

投書の内容は「要望」が最も多く22
件、「質問・相談」が20件でした。続
いて「提案」が11件、「激励・称賛」
が1件となっています。

◆要望の例
「まちづくり懇談会を昼間に開催し
てほしい」

◆質問・相談の例
「法務局の跡地は何に利用するの？」

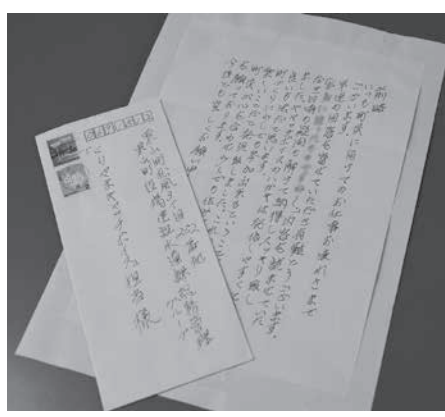
◆提案の例
「町内の農産物、食肉を使った農村
レストランを開業してみても？」

◆激励・称賛の例
「栗山公園の整備が素晴らしい」

※一枚のはがきに複数の意見・質問が
書かれている場合もあるので、投書
の総数よりも多くなっています。

おれの手紙が届きました

キャッチボイスの回答や取り組みに
対して投書者からおれの手紙をいただ
きましたので、紹介いたします。



「前略

いつも町民に向けてのお仕事お疲れ
さまです。さつそくの回答をいただき
ありがとうございます。（中略）
キャッチボイスのはがきは発信しや
すくとても良い方法だと思います。ま
ちづくりにも少しも参加できるという
ことは、とても楽しいことだと発見し
ました。これからも町と町民が心を合
わせ、少しでも住みよいまちになるこ
とを願っております」

今年度もくりやまキャッチボイスを
よろしく願います。

皆さんからのご意見お待ちしております！

①広報折り込みの専用はがきで！

2カ月に一度広報に折り込まれ
る専用はがきを切り取ってご利用
ください。
必要事項を記入してポストに投
函してください。（切手不要）

②FAXで！

はがきをそのまま、またはお好
きな用紙に必要事項を記入し
て、『72-3179』に送信してく
ださい。



③ホームページ専用フォームで！

下記アドレスから
<https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=SfQnm4ig>
または町ホームページトップ画
面の注目情報（画面右側）から
専用フォームにアクセス

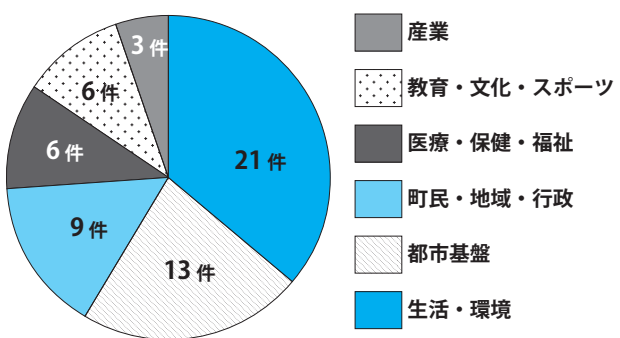
④すべての投書に回答

キャッチボイスの投書
が27年度の予算編成に
いかされました。
次ページで紹介します。



53件の投書すべてに、2週間以内に
回答を作成しお届けしました。

暮らしに身近な「生活・環境」に関
する投書が目立ちます。（投書が複数
の分類にまたがる場合もあります）



平成26年度 投書分類